



2025年9月1日

温室効果ガス排出量算定ツール「C-Turtle® FE」の導入

株式会社千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、株式会社NTT データ（代表取締役社長 鈴木 正範、以下「NTT データ」）が提供する、投融資先の温室効果ガス（以下、GHG）排出量を算定する「C-Turtle® FE」を導入しましたのでお知らせいたします。

気候変動問題への対応において、金融機関には、自社の GHG 排出量の削減とともに、投融資先の GHG 排出量（以下「ファイナンスド・エミッション」）の算定・開示が求められております。今般、ファイナンスド・エミッション算定のさらなる高度化を目的として、NTT データが提供する C-Turtle® FE を導入するものです。

当行は、従来から GHG 排出量の算定を行ってありますが、算定ツールが複数存在しておりました。C-Turtle® FE は、サプライヤの削減努力を自社の Scope 3（注1）排出量の削減効果として取り込むことできる「総排出量配分方式」を採用するとともに、金融機関の国際的基準「PCAF スタンダード（注2）」に準拠したファイナンスド・エミッションの可視化と削減を支援するプラットフォームです。本ツールの導入により、Scope 1・2・3 を今後は一つのツールでトータルに算定するとともに、投融資先の一次データを活用し、投融資に係る GHG 排出量およびその削減努力を反映したデータクオリティの高い Scope 3 排出量算定が可能となります。

<参考> 「C-Turtle® FE」概要

PCAFスタンダード対応、金融機関向けGHG排出量算定プラットフォーム



Point 1 **PCAFに準拠したFE算定**
国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融資先別の排出量を可視化します

Point 2 **幅広い企業のGHG排出量情報を保有**
大企業から小規模企業まで幅広く企業のGHG排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

Point 3 **取引先とのエンゲージメント促進**
取引先のGHG排出量情報を金融機関へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

株式会社NTT データ ホームページ <https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2025/090101/>

（注1）企業の事業活動に関連する自社以外から排出される GHG 量（サプライチェーン排出量）

（注2）金融機関の投融資に係るファイナンスド・エミッションの測定と開示を標準化するためのグローバル基準。

業界主導の取組みで、金融機関が自らの環境影響を定量化し、透明性を高めることを目的としている。

引き続き GHG 排出量算定の高度化に努めるとともに、地域の脱炭素化に向けた取組みを進めてまいります。

以上

